

## 「でき iPad2。」Ver2 操作モード設定例(あくまで一例です)

2023/11/14 改版

「でき iPad2。」Ver2 は、操作モードがキーボードとマウスがあり、それぞれ更に4種類あります。

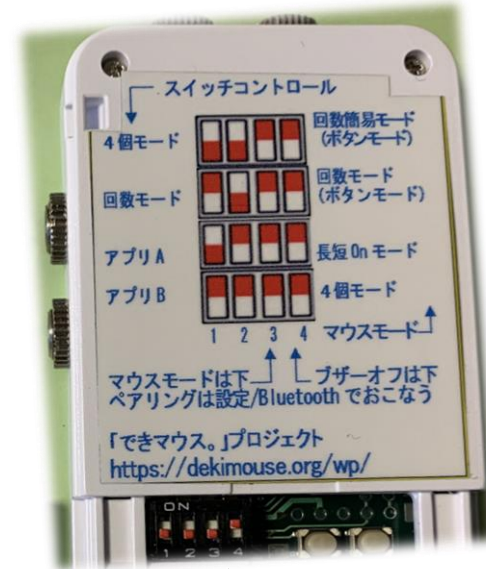
ここでは、どの操作モードにするかの参考例を記します。本文中の語句で SW1 とは、

「でき iPad2。」の1番に挿入したスイッチを意味します。

スイッチの操作がどの程度可能か、あるいは利用するアプリによって、「でき iPad2。」の操作モードを決めます。設定 DIP スイッチはしっかり切替てください。

「でき iPad2。」本体の裏に説明シールが貼ってあります。電池ボックスのフタを開けます。

DIP スイッチは1から4まで番号があります。1から3の組み合わせで操作モードを設定します。



### スイッチコントロールやスイッチ対応アプリの操作 (DIP スイッチ 3番を上)

スイッチコントロールを利用する際は、iOSの画面で設定/アクセシビリティ/  
スイッチコントロール/スイッチと進んでアクションを設定します。

#### 1. モード決定の例

- 1-1. スイッチ1個あるいは複数個の操作可能な場合は、**スイッチ4個モード**、長 ON が可能な場合は、1 個のスイッチに二通りのアクション設定ができます。ただし、長 ON(長押し)を有効にしますと、スイッチを On したときのアクション発生が、スイッチを OFF にしたときになります。これは iOS の仕様です。
- 1-2. スイッチを任意に数回 On できる場合は **ON の回数モード**、これによってスイッチを4個操作と同じようなことができます。
- 1-3. 振戦(手の震え)がある場合、スイッチの **ON の回数モード**を利用し、1回から4回まですべて同じアクションを設定します。これによって、不随意的にスイッチを数回 ON しても、同じアクションが1回だけの操作ができます。
- 1-4. スイッチ対応アプリ、たとえば Space/Enter/1/3 のキーで操作するアプリを利用したい場合は、**スイッチアプリモード A**。この場合は、**スイッチコントロールは OFF** で利用します。

1-5. スイッチ対応アプリ、たとえば Space/h/k/l(エル)のキーで操作するトーキングエイド for iPad や DropTap や DropTalk を利用したい場合は、スイッチアプリモード B。この場合は、スイッチコントロールは OFF で利用します。

## 2. スイッチコントロールやスイッチ対応アプリ各操作モードにおける特徴

### 2-1. スイッチ4個モード



スイッチ ON で反応しますので、スイッチコントロールのポイントモードで利用の際は、反応が良いです。

必ずしも、スイッチ4個必要ではなく、1個からご利用できます。

スイッチの長押しにも対応しますが、iOS の設定で長押しをオンにすると、スイッチを放して機能するようになります。

これは、iOS の仕様です。スイッチの反応の速さを求める場合や長押し機能を使う場合のご利用に良いでしょう。

スイッチを SW2 にも接続の場合は3秒間スイッチを長 ON するとキーボード表示の ON/OFFが、5秒間長 ON で iPad を Sleep にし、「でき iPad2。」も Sleep します。SW2 に長押し機能を割り当てる場合は、1.5 秒以下にしてください。

出力キー: SW1: ↓ SW2: ← SW3: ↑ SW4: →

### 2-2. スイッチ ON 回数モード



ポイントモードでの利用の際は、ほんのわずか遅れを感じます。(スイッチ On の回数を数えるため)ポイントモードでの操作では上記のスイッチ“4個モード”をお勧めします。

1回から4回までの ON は、スイッチコントロールのアクション設定ができます。

スイッチを連打してしまう場合には、すべての回数のアクションを同一にすると良いでしょう。

出力キー: 1回: Space 2回: Enter 3回: 1 4回: 3

5回からは下記のような機能が設定されております。

5回: スクリーンキーボードの表示の ON/OFF 6回: トリプル HOME (iOS 10以降で HOME ボタンのあるiDevice)

9回: iPad や iPhone を Sleep にして「でき iPad2。」も Sleep になります。

スイッチを SW2 に接続した場合は音楽を容易に楽しむことができます。

1回 ON: 再生・停止 2回 ON: 次の曲 3回 ON: 前の曲 4回 ON: ボリューム下げる 5回 ON: ボリュームを上げる

6回 ON: トリプル HOME (iOS 10以降で HOME ボタンのあるiDevice)

9回 ON で iPad や iPhone を Sleep にして「でき iPad2。」も Sleep になります。

スイッチを SW3 に接続した場合はカメラアプリにおいてシャッター機能となります。

### 2-3. スイッチアプリモード A



スイッチコントロールの長押しには対応していません。スイッチを放すことが困難な場合にご利用ください。

長押し利用の場合はスイッチ4個モードをご利用ください。Chromebook でのスイッチアクセスでもご利用できます。

スイッチを SW2 にも接続した場合は、3秒間スイッチを長 ON すると、キーボード表示の ON/OFF が、5秒間長 ON で iPad を Sleep にし、「でき iPad2。」も Sleep します。

出力キー: SW1:Space SW2:Enter SW3:1 SW4:3

### 2-4. スイッチアプリモード B



スイッチコントロールの長押しには対応していません。スイッチを放すことが困難な場合にご利用ください。

長押し利用の場合はスイッチ4個モードをご利用ください。Chromebook でのスイッチアクセスでもご利用できます。

スイッチを SW2 にも接続した場合は、3秒間スイッチを長 ON すると、キーボード表示の ON/OFF が、5秒間長 ON で iPad を Sleep にし、「でき iPad2。」も Sleep します。トーキングイェド foriPad や DrropTap や DropTalk や Voice4U でもご利用できます。

出力キー: SW1:Space SW2:h SW3:k SW4:l(エル)

注) スイッチアプリモード A または B はスイッチコントロールを ON にした場合でも、スイッチコントロールのアクションの設定が可能です。ただし、出力されるキーが同じの場合は、すでに使用済みとなります。

## マウスポインタの操作 (DIP スイッチ3番を下)

マウスポインタを操作する際は、iOS の画面で設定/アクセシビリティ/タッチ/と進んで、AssistiveTouch を“オン”に設定します。

iOS/iPadOS ではマニュアルの” 8-2. iOS/iPadOS 側の設定”をご覧ください。機能はマウスポインタが移動中と停止中では異なります。

マウスモードの際、「でき iPad2。」の LED は赤点灯となります。(ペアリング動作の場合は緑点滅)

### 3. スマウスポインタ操作における各モードの特徴



#### 3-1. スイッチ On の回数簡易モード (マニュアルの 8-3-1-1 の表を参照)

スイッチ On の回数をできるだけ少なくして利用する場合にお試しください。

AssistiveTouch のメニューボタンを直接選択したり、選択も滞留コントロールを併用しますと、3 回までのスイッチ On で利用できます。また、もう少しスイッチ On の回数が可能な場合は、ボタンに機能を割り当てての利用ができます。

「でき iPad2。」の 2 番にスイッチを挿入すると、下記の 3-2 のボタンモードとなります。

3 番端子はボタン 3、4 番端子はボタン 4 の定義したアクション機能になります。

### 3-2. ボタンモード(マニュアルの 8-3-1-2 の表を参照)

スイッチ On の簡易回数モードと On の回数モードにおいて、  
外部スイッチを「でき iPad2。」の2番に挿入するとマニュアルの



8-3-1-2 の表のように、マウスポインタの移動が不要でアクションだけで利用する場合に適しております。

たとえば、本のページをめくったり戻ったりが少ないスイッチ操作で可能になります。この場合、滞留コントロールの併用も試してみると良いでしょう。

### 3-3. スイッチ On の回数モード(マニュアルの 8-3-2 の表を参照)



スイッチ On の回数を利用して、より多くのアクションを利用したい場合にお試ください。

AssistiveTouch のポインタ移動で低速や反対方向への機能が利用できます。

また、滞留コントロールを併用しますと、ホットコーナー機能も利用できます。スイッチ On の回数でホットコーナーにポインタが瞬時に移動できます。移動直後はスイッチ2回 On で停止させます。

ドラッグ機能もあります。

スクリーンキーボード表示のON/OFFもできます。iDeviceを Sleep にもできます。

「でき iPad2。」の2番にスイッチを挿入すると、上記の 3-2 ボタンモードとなります。

### 3-4. スイッチの長短 On モード(マニュアルの 8-3-3 の表を参照)



スイッチの長短 On の組み合わせで、より多くのアクションを利用したい場合にお試ください。

短 On の場合は音が鳴りません。AssistiveTouch のポインタ移動で低速や反対方向への機能が利用できます。

また、滞留コントロールを併用しますと、ホットコーナー機能も利用できます。スイッチ On の回数でホットコーナーにポインタが瞬時に移動します。コーナーへ移動直後はスイッチ2回短 On あるいは1回長 On で停止させます。

2番にスイッチを挿入すると、スイッチを1回 ON:再生・停止 2回 ON:次の曲 3回 ON:前の曲 4回 ON:ボリューム下げる

5回 ON:ボリュームを上げる 6回 ON:AssistiveTouch メニュー表示 9回 ON で iPad や iPhone を Sleep にして「でき iPad2。」も Sleep になります。

3番にスイッチを挿入するとマウス左ボタン視線入力決定機能( miyasuku/HeartyAi)が利用できます。

4番にスイッチを挿入すると視線入力決定機能 (Orihime eye)が利用できます。

### 3-5. スイッチ4個モード(マニュアルの 8-3-4 の表を参照)



「でき iPad2。」の4個のジャックにスイッチを4個接続、あるいは、拡張コネクタを利用してレバースイッチなどでポインタを移動させます。スイッチやレバーを短 On するとポインタは移動を開始します。

スイッチやレバーを1回音が鳴るまで On するとポインタは停止します。2回音が鳴るまで ON すると移動速度の変更ができます。レバースイッチの場合は、斜め方向の On の機能(アクション定義可能)もあります。

## ショートカットの例

iOS/iPadOS 標準アプリに“ショートカット”があります。

アイコンとして画面に貼ることもできます。愛ディア次第でいろいろなアクションを作ることができます。その機能もますます進化しております。ぜひご自分で作ってみてください。その参考の一助になればと、ご紹介いたします。

#### 1. AssistiveTouch を ON にする。



#### 2. スイッチを使う。



#### 3. スイッチコントロールと AssistiveTouch を OFF にする。



Siri で音声でスイッチコントロールを ON にする場合は名前をスイッチコントロール ON からスイッチを使うに変更してください。

作成したショートカットやオリジナルジェスチャーはマウスモードでボタンに割り当てができます。



## ボタンモードの例

### Ver2.5 から8ボタンマウスから6ボタンマウスに変更

スイッチ On の簡易回数モードと On の回数モードにおいて、外部スイッチを「でき iPad2。」の2番に挿入するとマニュアルの 8-3-1-2 の表のように、マウスポインタの移動が不要でアクションだけで利用する場合に適しております。

たとえば、本のページをめくったり戻ったりが少ないスイッチ操作で可能になります。

本のページをめくる動画は下記サイトでご覧いただけます。

<https://dekimouse.org/wp/?p=11215>

#### ボタンモードの例1



### 6ボタンマウスのボタン割当ての例



アプリで特定の3か所をタップする動画は下記サイトでご覧いただけます。

[https://dekimouse.org/wp/kiki/dekiipad2/#mouse\\_button\\_katuyou1](https://dekimouse.org/wp/kiki/dekiipad2/#mouse_button_katuyou1)

#### マウスボタンの活用例 1

#### ボタンモードの例2



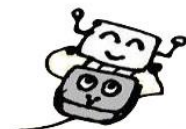
\* iOS/iPadOS14.では AssistiveTouch のカスタムジェスチャのみが XY 座標 (特定ポイント) が反映しない状態になってしまいました。Apple 社に改善依頼を提出済みです。

「でき iPad2。」が皆様に可愛がっていただけることを願っております。

「できマウス。」プロジェクト

<https://dekimouse.org/wp/>

トップページ



Dekimouse Project